

様式 1

県立佐和学校【総合的な探究の時間計画】（令和 8 年度）

学校の教育目標

生徒の自己実現に資する教育活動

- (1) 授業改善を通じた確かな学力を育む学びの推進
- (2) 豊かな心の育成
- (3) 未来を拓き夢を実現するキャリア教育の充実
- (4) 地域住民に開かれ、信頼される学校づくり

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
(1) 地域や世界の現状を理解し、問題点を把握できるようになる。 (2) 必要な情報を収集できるようになる。 (3) 把握した問題点から、解決する方策を考えることができるようになる。 (4) 調べたことや活動内容を自分の言葉で表現し発表できるようになる。 (5) 地域や社会の問題解決のために、自ら行動できるようになる。	(1) 地域や社会の状況を分析し、問題点を把握できた。 (2) 書籍やインターネットを利用し、正しい情報を収集できた。 (3) 情報をもとに、問題解決の方策を考えることができた。 (4) 掲示物や口頭で、自分の考えを表現し、他者に伝えることができた。 (5) 地域や社会の問題を抜き出し、問題解決のためにできることを考え、行動することができた。	(1) 問題の言語化と絞り込みの支援（選択肢やヒントを提示する） (2) 情報収集の ICT ツールの活用等、本人の特性に合った様々な方法の模索とその支援 (3) グループ学習等様々な学習法で相互支援を促す (4) 心理的安全性の構築を図る

各学年における主な取組内容

「総合的な探究の時間」を課題研究等で代替している場合の科目名（ ）

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1年	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもの権利条約に関する理解を深めるとともに、安心して自分の意見を表現できる学習環境について考察する。 ● 生徒一人一人が日常生活の中で感じた疑問や課題をもとに探究課題を設定し、情報収集や整理、分析を通して学びを深める。 ● 探究の成果をスライド等にまとめ、他者に分かりやすく伝える活動を通して、表現力及び思考力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ドリーム・パス事業等を活用し、外部講師による講演や指導を取り入れることで、多様な価値観や社会的視点に触れる機会を設ける。 ● 必要に応じて地域や関係機関との連携を図り、実社会と結び付いた探究活動の充実を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の考えや意見を主体的に表現するとともに、他者の意見を尊重し対話を通して理解を深めることができる生徒を育成する。 ● 身近な事象から課題を見だし、主体的に学び続けようとする態度を身に付けた生徒を育成する。

様式 1

<p>2年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 各種災害について調べ、備えを考えて防災の意識を高める。 ● SDGs の観点から関西地域について調べ、考える。 ● 地域社会のSDGs を調べ、SDGs の観点を世界に広げる。 ● 探究の成果をスライド等にまとめ、他者に分かりやすく伝える活動を通して、表現力及び思考力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 外部講師による講演 ● 外部の企業やNPO法人等と連携し体験活動ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 主体的に危険を予測・回避し、周囲と連携して安全に行動できる生徒を育成する。 ● 広い視野とボランティア精神をもち、地域社会に貢献する、心豊かな生徒を育成する。
<p>3年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 自身の進路希望を見つめる ● 希望する進路方面が抱える課題を調べ、考える。 ● 進路方面の課題への取り組み・対策について調べ、考える ● 個人の進路が抱える課題・背景・対策・改善策の調べ、考える。 ● 探究で分かった課題についての改善策を、スライド等にまとめ当事者意識を持って他者に分かりやすく伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 外部講師による講演 (消費生活講演会等) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 将来を考え職業の選択と社会貢献・自己実現・働くことの意味や価値観・社会的責任を理解できる生徒を育成する。 ● 社会との関わりと自己のあり方・生き方を考え、キャリアを形成できる生徒を育成する。